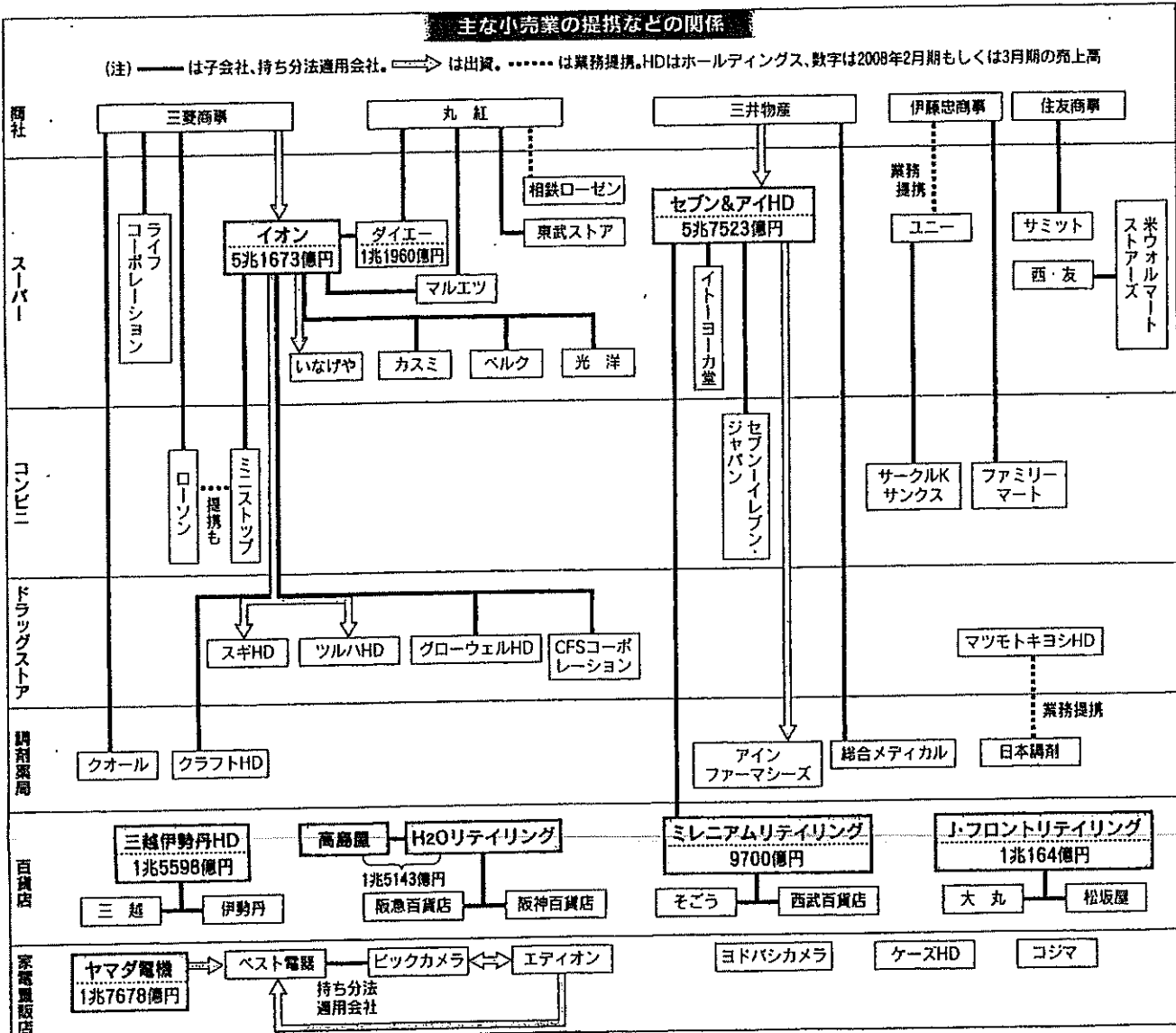


2009年は百貨店、スーパー、コンビニエンスストア、専門店など業種の枠を超え、業界再編が加速しそうだ。人口減で縮む消費市場に、世界的な金融危機に伴う販売不振が響く。規制緩和で大手小売でも風邪薬などの一般医薬品（大衆薬）の販売が自由にできるようになり、小売業の合従連衡の機運は一段と高まっている。

## 流通再編、業種超え加速



### コンビニ

#### ローソン・ミニストップ、連携視野

#### イオンの動きカギ

〇八年は年末に、売上高「水準」ではな... 五兆円を超える巨大流通... ループ、イオンが動いた。イオンは消費低迷で収益力が低下。規模拡大から収益の増大など同じ小売業への出資など同じ小売業へのM&A(合併・買収)で急成長してきたが、今回は総合商社トップの三葉商事と手を組んだ。三葉商事がイオンの発行済み株式の5%を握り筆頭株主となる。

イオンは〇七年にダイエーに資本参加した際、ダイエー筆頭株主の丸紅とも資本業務提携した。だがイオンは今回、三葉商事とより踏み込んだ関係結んだ。自動販売機でのたばこ販売を規制する「たばこ効果」を昨年発売し、今年に丸紅は十一月、神奈川県の中野スーパー、相鉄ローゼンと業務提携で合意した。イオンの連携が深まれば、コンビニ再編の引き金になる可能性がある。

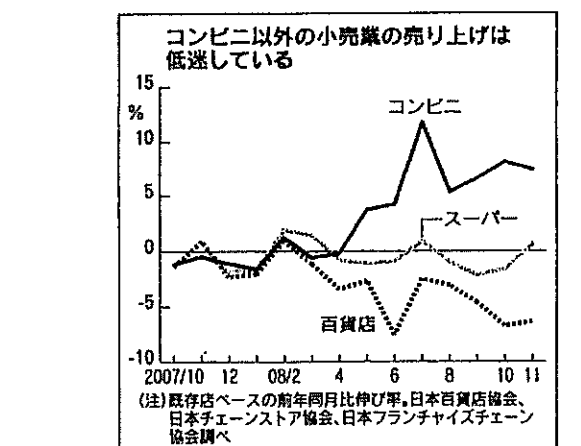
イオンは〇七年にダイエーに資本参加した際、ダイエー筆頭株主の丸紅とも資本業務提携した。だがイオンは今回、三葉商事とより踏み込んだ関係結んだ。自動販売機でのたばこ販売を規制する「たばこ効果」を昨年発売し、今年に丸紅は十一月、神奈川県の中野スーパー、相鉄ローゼンと業務提携で合意した。イオンの連携が深まれば、コンビニ再編の引き金になる可能性がある。

### 百貨店

#### 電鉄系、焦点に浮上

中野スーパー、相鉄ローゼンと業務提携で合意した。イオンの連携が深まれば、コンビニ再編の引き金になる可能性がある。

イオンは〇七年にダイエーに資本参加した際、ダイエー筆頭株主の丸紅とも資本業務提携した。だがイオンは今回、三葉商事とより踏み込んだ関係結んだ。自動販売機でのたばこ販売を規制する「たばこ効果」を昨年発売し、今年に丸紅は十一月、神奈川県の中野スーパー、相鉄ローゼンと業務提携で合意した。イオンの連携が深まれば、コンビニ再編の引き金になる可能性がある。



### ゴミ不法投棄の3人を検挙

大阪市中央市場本場市場内に大量持ち込みゴミの持ち込みで頭を痛めている大阪市中央市場本場で、ステール机、椅子、衣装ケース、布団など大量のゴミを不法投棄した40歳の男性ら3人が18日、所轄の福島警察署に廃棄物の処理及び清掃に関する法律違反の疑いで検挙され、大阪地検に書類送検された。

いずれも大阪市内在住の39歳から42歳の男性3人で、倒産会社の明け渡し期日が切迫、事務所内の物品の処分場所に苦慮していた時、市場内のパレット置場を思いつき、悪い事とは知りながら、市場の休日、3台の車でゴミを運び、不法に投棄した、という。

同市場では、これまでも、家庭ゴミ、冷蔵庫、テレビ、クーラー、事務所で使用される机、椅子、ロッカーやホワイトボードなどの備品、タイヤ、荷車など、場内への持ち込みゴミに對して、市場内の各事業者、団体や関係先に、持ち込み禁止の周知徹底を依頼する文書を送達するなど、対応を進めているが、完全な除去ははかれていない。

安全・安心な生鮮食料品を取り扱う市場でのゴミの不法投棄は、市場内の環境、商品に与える影響は大きなものがあり、その徹底がのぞまれている。

ちなみに、違反者に対する罰則は、5年以上の懲役、若しくは1千万円以下の罰金、またはこれらが併科されるといふ厳しいもので、会社が関わった場合は1億円以下の罰金、未遂行為も罰せられる。

本場当局では、不法投棄は犯罪。しない、させない、許さない、不法投棄の撲滅を図ろう、と呼びかけている。





# 豊漁時の値崩れ防ぐ調整弁

「ずいぶん増えているわね」。内訳をみると、ホタテ、ナマコ、サケ、サバ、サンマ、カツオなどが多い。明日香は同庁加工流通課の伊藤敏朗さん(45)に聞いた。「日本には広くて豊かな漁場があります。水産物の輸出は戦前から続いています。ここへきて再び活発になってきました」。〇六年の各国の水産物輸出額は中国が九十一億ドル(当時のレートで約一兆円)で一位、二位のノルウェーが五十五億ドルだった。当時は円安もあり、順位は二十位だったが、増加傾向が続けば「水産輸出大国」になれる可能性もありそうだ。

次に明日香は水産大手の極洋に向かった。海外事業部事業課長の山内快さんによると北海道のサケを中国に輸出し、ブロックなどに加工、その後欧州に再輸出している。

5年前と比べ6割増。明日香はまず水産庁に向かった。同庁の説明によると、〇〇八年の水産物輸出額(速報値)は千七百五十七億円。円高などで前年比一三%減だったが、5年前と比べて約六割増と近年は増加傾向が続いてきた。

「青森のホタテも高級食材として珍重されフランス料理などで使われる。サケは不漁と円高で輸出が大幅に減ったが、ホタテは経済危機でも引き合いが強いという。日本水産も子会社を通じて高級食材として輸出している。〇七年に對じ輸出水産食品取扱施設の認定を厚生労働省から受け、日本料理店向けにプリの輸出を開始した。同社の食材商品部長の日向敏夫さんは「欧州では健康意識の高まりで、肉より魚を好む風潮が広がっています」と話す。

タイ向けは缶詰用。「日本産の水産物は高級食材として注目されています。明日香が事務所に戻って報告すると、所長は「上位品目のうち、サバやサンマは高級食材のイメージはないけど、どうして増えているんだ」と追加調査を命じた。

輸出統計をみると、サバの輸出額が百四十八億円、サンマが四十六億円、カツオが百一億円となっている。円高が進んだ昨年も金額ベースで前年と比べ増加した。「高級魚より勢いがあるわ」

「サバやサンマ、カツオ、サケなどの輸出が増えているらしいわ」。近所の主婦の話に、探偵、深津明日香が首をかしげた。「日本は魚を『買い負け』ていたのでは。輸出までしているの?」

## エコー探偵団

### サバ・サンマ・カツオ…輸出急増なぜ



明日香は、サバなど大衆魚の輸出をしているという長崎県の水産物卸業者、長崎魚市を訪ねた。同社は長崎地方卸売市場の運営会社で、〇〇年から一部の魚を冷凍で中国に輸出し始めた。総合企画部長の呉永平さん(51)は「サバやタチウオなど大量にとれる魚は、豊漁・不漁が激しく、豊漁の時は小さいものだと一キロあたり三十円まで値下がりしたこともありました」と話した。

「これでは漁業者は生活できません。公設市場として、水産物の価格を安定させるための『買い支え』を行い、輸入のバイアプがあった中国に輸出を始めた」と話す。〇七年の輸出額は二十三億円のぼる。〇二年ごろ一キロ七十円台だった輸出物の平均単価は現在、百円を超える水準まで上昇し、国内価格の下支えになっている。

伊藤忠商事は水産物輸出のうち、サバ、サンマ、カツオが大半を占める。〇七年度の輸出額は約四十五億円だ。水産部水産第一課長代行の本司博さんは、「世界の缶詰工場となっているタイなどに輸出しています」と話した。「ただあくまで国内で消費しきれず、売れ残った分を輸出することになっています。常に海外マーケットとのつながりを持つことで、国内市場での暴落などを防ぎます」

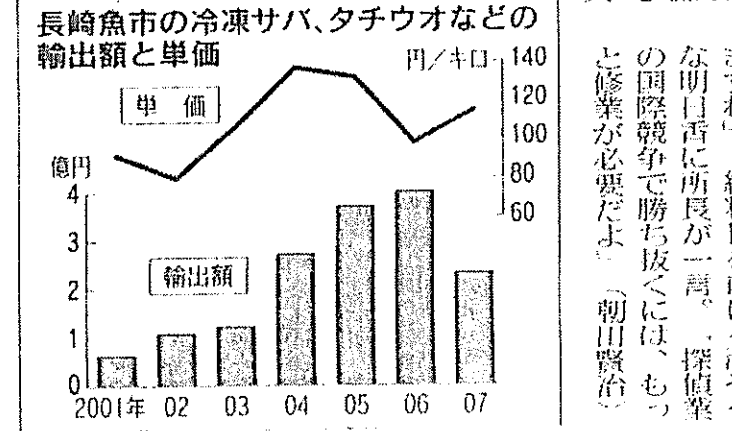
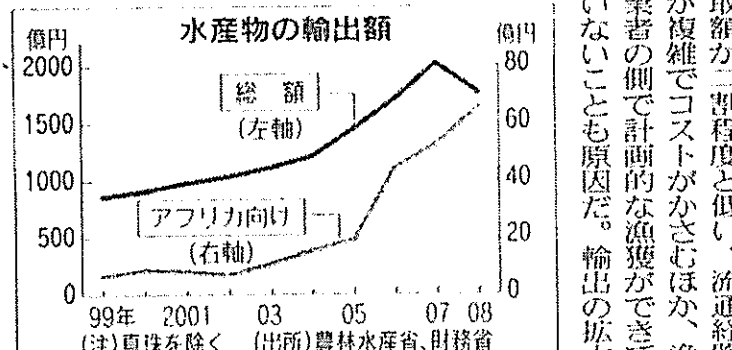
明日香が事務所に戻って報告書の準備を始めると、事務所に遊びに来た何れでもコンサルタントの垣根太が「アフリカ旅行に行ったとき、日本の水産会社の名前が入った箱に入れられて売られて

## アフリカ・中国成長市場

丸紅は輸出するサバの一部をアフリカ向けに輸出している。多いのはエジプト、ナイジェリア、アングラなど。冷凍で輸出し、現地で解凍してそのまま販売する。水産部水産原料課長の鎌田啓嗣さん(44)は「日本の魚は国際相場からかけ離れて安く、船賃や保険料を負担して輸出しても十分利益が出ます。アフリカには魚食文化があり、日本の魚は貴重なたんぱく源として庶民に普及しています」と話す。現地ではオリブオイルをかけて焼いて食べる人が多いという。

水産物商社の辻野(千葉県銚子市)もアフリカ向け輸出を手掛ける。取締役海外事業推進室長の遠山喜尋さん(58)は「最近サバの漁獲が減っており、資源量が豊富なサンマに注目しています」と話した。「世界経済が停滞し、欧米の水産物消費には限界が感じられます。しかし、アフリカなど途上国では人口増加が続いており、たんぱく源として魚の需要が強くなり、今後成長市場です」

明日香は水産物の将来について聞こうと、政策研究大学院大学の小松正之教授を訪ねたが、意外に魚が安いのは取りすぎの影響が大きい。このままでは魚価が上がらないばかりか、資源枯渇さえ招きかねません。例えば小さいサ



長崎魚市の冷凍庫に保管されている輸出用の冷凍サバ(長崎市)